

2022年10月〇日

〇〇〇〇様

安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合

2022年臨時国会開会にあたっての市民連合要請書

ご奮闘に敬意を表します。

市民連合は、2015年の結成以来、憲法破壊、立憲主義破壊の自公政権に対抗して、立憲主義の回復、市民のいのちと暮らし、生活保障の実現をめざして活動をつづけてきました。結果として、濃淡はありますが、全国に組織は拡大しています。

国政選挙では、「市民と野党の共闘」、「野党共闘」を掲げて、立憲野党を支援して取り組んできました。また通常国会、臨時国会においても、立憲野党に政策実現のため要請行動を行い、支援して取り組んできました。

今回、野党の努力もあって、ようやく10月3日から、臨時国会が開始されることになりました。臨時国会では、課題が山積しています。

この間、岸田自公政権は、安倍・菅の路線を引き継ぐとして、憲法改悪、軍事大国化、原発推進、アベノミクス・新自由主義路線の推進を掲げて暴走を続けています。そして9月27日には、世論の圧倒的な反対意見を押しきって、憲法違反の「安倍の国葬」を強行しました。

しかし一方では、安倍・自民党の統一教会の癒着の露見、オリンピック疑獄の拡大、貧国と格差の深刻化、物価高とコロナ対策の不十分性による市民の暮らしの深刻化が続いています。結果として、市民の岸田自公政権への批判が全国で高まり、世論調査では、岸田内閣の支持率は急落し、政治の潮目は確実に変わろうとしています。

今こそ立憲野党は、さらに強く、岸田内閣の政策転換、退陣を掲げて奮闘するときだと考えます。私たちも全力で支援します。

市民連合は、臨時国会で、野党各党が、共闘して、闘うことを期待し、下記の課題の取り組みを要請します。

記

- 1, 統一教会と自民党の癒着の追及と、反社会团体である統一教会の全貌の解明、被害者救済に取り組むこと。
- 2, 森友、加計、桜を見る会の徹底追及、オリンピック疑獄など自公政権の権力の私物化・犯罪を追及すること。
- 3, 物価高騰対策、コロナ対策を抜本的に充実させ、市民生活を保障する政策を打ち出すこと。実質賃金が低下し続けるなか、実効性のある賃上げ政策を確立すること。低所得層への支援策を充実すること。
- 4, 貧困と格差を創り出す新自由主義路線、アベノミクスの政策転換を図ること
- 5, 北東アジアにおいて、軍事的緊張を高めるのではなく、平和確立の努力をすること。
- 6, 憲法・専守防衛を基本に防衛費の GDP 比 2 % 拡大、敵基地攻撃能力保有などに反対すること。
- 7, 知事選の結果も踏まえ、沖縄辺野古新基地建設に反対すること。
- 8, 9 条改憲など一方的な改憲策動強行に反対すること。
- 9, ジェンダー平等の取り組みを強化すること。
- 10, 気候変動対策を強化すること。
- 11, 原発再稼働、使用期間延長、新型原発の開発など原発推進路線に反対すること。
- 12, ウクライナ侵略戦争に反対し、ロシアによる小型原子爆弾使用を絶対に許さず、唯一の戦争被爆国日本としての役割を果たすこと。

以 上